

趣 旨

沖縄県立北部病院に設置予定の汎用超音波画像診断装置の調達に関する契約履行について、必要な事項を定めるものとする。

1 調達物品名

汎用超音波画像診断装置① 一式

汎用超音波画像診断装置② 一式

2 納入場所

沖縄県立北部病院(沖縄県名護市大中二丁目12番3号)

3 履行期限

令和7年3月31 日まで

4 要求仕様

別紙の要件を満たしたものであること。

5 構成内容

別紙のとおり。

5 搬入設置条件

①本調達物品は、当院の指定する場所に設置すること。

②機器の搬入設置、調整等については、当院の診療業務に支障をきたさないように調整を行い、そのスケジュールに従い完了すること。

③本調達の設置に関し、機器の搬入、据付、配線、接続、調整等は本調達に含むものとする。その際、当院の診療業務に支障をきたさないよう、当院担当者と協議の上行うこと。

6 保守、支援体制

①本調達物品の運用を円滑に実現するため、沖縄県内に技術的サポート体制が整備されていること。

②障害において復旧のため、通報を受けてから迅速に対応可能な体制であること。

③本機器に必要な部品について安定供給が確保されていること。

7 その他

①物品は、新品、未使用であること。また、保証期間は納入後1年とする。この期間内において不可抗力、又は取り扱い不注意による以外で故障が生じた場合は、納入業者において無償修理その他の保証を行うものとする。

②操作マニュアル等は、日本語版で1部提供すること。取扱説明に関する教育訓練は、当院が指定する日時、場所で行うこと。

③入札額には設置調整に必要な諸費用等、稼働に必要な諸経費を全て含めること。

④本仕様書に記載されていない事項について疑義のある場合は当院と協議し、その旨従うこと。

1.汎用超音波画像診断装置①

	1.超音波画像診断装置本体
	装置本体に関し、以下の仕様を満たすこと。
1-1-1	本体寸法は横幅420mm、奥行き670mm以内であること。
1-1-2	本体重量は移動を考慮し65kg以下であること。
1-1-3	15秒で立ち上がりスキャン可能になるSleepモードを有すること。
1-1-4	装置側面に電子系プローブ接続コネクタを3個以上備えていること。
1-1-5	操作パネルはバックライト付きであること。
1-1-6	プローブとプリセットをワンボタンで切り替える機能を有すること。
1-1-7	観察用モニターは15インチ以上であること。
1-1-8	走査方式は電子コンベックス走査、電子リニア走査方式を有すること。
1-1-9	Bモード、Mモード、PWDプラモード、CFMモード、PDモードの他、高感度ではみ出しを抑えた血流表示方向を表示可能なパワードプラであること。
1-1-10	産科計測項目であるBPD、AC、HC、HL、FL、大槽径、側脳室径、小脳径を計測する機能を有すること。
1-1-11	Mモード、PWDプラモードでFHRのキャリパを自動でセットする機能を有すること。
1-1-12	DICOM 3.0に準拠したデータ通信機能を有すること。
1-2	Bモードに関し、以下の仕様を満たすこと。
1-2-1	プローブによる周波数は3段階で切り替え可能であること。
1-2-2	スペckルを低減させる機能を有し、5段階以上の調整が可能であること。
1-2-3	複数の異なる角度の超音波ビームを送受信する機能を有し、8段階以上で調整可能であること。
1-3	Mモードに関し、以下の仕様を満たすこと。
1-3-1	5段階以上のスイープ速度が選択が可能であること。
1-4	PWモードに関し、以下の仕様を満たすこと。
1-4-1	サンプリングポイント(ゲート)幅の調節は12段階以上可能であること。
1-4-2	4段階以上のスイープスピードの切り替えが可能であること。
1-5	カラードプラ/パワードプラモードに関し、以下の仕様を満たすこと。
1-5-1	カラーマップは、8種類以上備えていること。
1-5-2	通常のパワードプラとは別に、高感度でかつはみ出しを抑えた血流方向を表示可能なパワードプラを有すること。
	2.プローブ
2-1	2D経腹プローブに関し、以下の仕様を満たすこと。
2-1-1	周波数は2.0MHz～5.0MHzの範囲内であること。
2-2-2	ハーモニックイメージング対応であること。
2-2-3	視野角は70° 以上であること。
2-2	2D経膈プローブに関し、以下の仕様を満たすこと。
2-2-1	周波数は2.9MHz～9.7MHzの範囲内であること。
2-2-2	ハーモニックイメージング対応であること。
2-2-3	視野角は181° 以上であること。
	3. 記録機器
3-1	白黒プリンタに関し、以下の仕様を満たすこと。
3-1-1	印刷方式は感熱記録方式であること。
3-1-2	256階調以上であること。
3-1-3	デジタル式 USB接続であること。

3-1-4	本体パネルから操作可能であること。
	4. ネットワーク
4-1	ネットワークに関し、以下の仕様を満たすこと。
4-1-1	STORAGE、MWMに対応すること。
4-1-2	SR接続に対応すること。
4-1-3	院内既存のPACSへ画像転送ができること。

2.汎用超音波画像診断装置②

	1.超音波画像診断装置本体
	装置本体に関し、以下の仕様を満たすこと。
1-1-1	奥行き(D)140mm、幅(W)70mm、高さ(H)40mm以内であること。
1-1-2	本体重量が計250g以内であること。
1-1-3	同時駆動素子は128チャンネルであること。
1-1-4	本体にプローブの機能が格納された一体型デザインであること。
1-1-5	プローブはワイヤレス方式を採用していること。
1-1-6	Qi規格による非接触充電方式を採用していること。
1-1-7	専用端末を持たず、必須要件を満たす市販携帯端末を任意に選択し使用できること。
1-1-8	静止画はJPEG形式、動画はMPEG4形式で携帯端末に保存されること。
1-1-9	画像データをDICOM形式に変換しPACSへ転送できる機能を有すること。
1-1-10	IP67防塵防水規格をクリアしていること。
1-1-11	米国国防総省制定規格MIL-STD-810Gに準拠した落下試験を実施していること。
1-1-12	Bモード、カラーフローモード、パルスドブラモード、Mモードを有すること。Bモードは、表示深度は電子コンベックス探触子で最大24cm、電子リニア深触子で最大8cmであること。
1-1-13	アノテーション機能を有すること。
1-1-14	測定について、2点間距離測定の機能を有すること。周囲長測定が可能であること。
1-1-15	通常の使用に必要な附属品(本体用保護ケース、ワイヤレス充電台、チャージャー用ACアダプター等)を含めること。
	2. プローブ
2-1-1	電子コンベックス探触子と電子リニア探触子の2つを1つのプローブに有していること。
2-1-2	電子コンベックス探触子は、周波数帯域は2.0Mz～5.0MHzであること。
2-1-3	電子リニア深触子は、周波数帯域は3.0Mz～12.0MHzであること。